

令和3年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果報告会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	
昨年度までの“環境整備”を経て、今年度より事業化に取り組む	✓
昨年度までの“環境整備”と“支援チーム派遣（事業化支援）”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：公益財団法人東近江三方よし基金

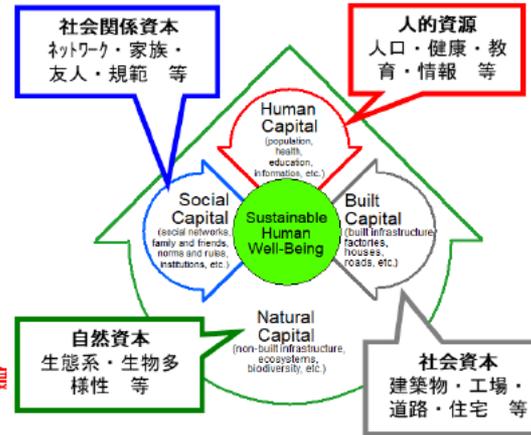
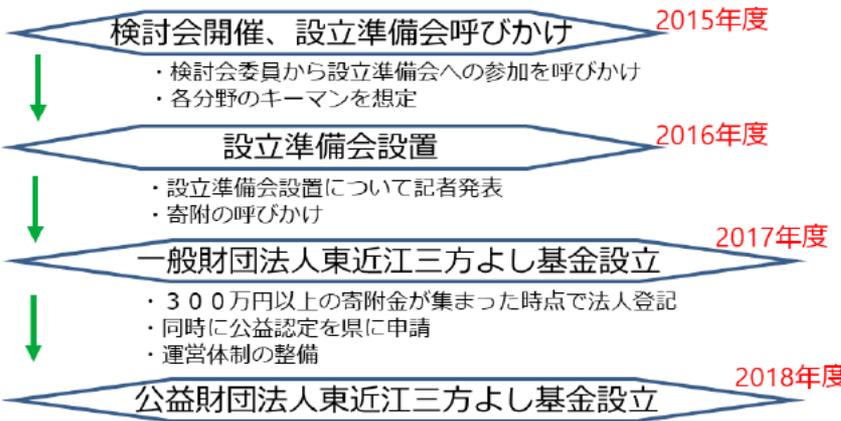
活動地域：滋賀県東近江市

活動におけるテーマ・キャッチコピー

～人と自然・人と人のつながりの先に～

活動団体紹介

- ✓東近江三方よし基金は市域の「コミュニティ財団」
- ✓持続可能な東近江市を実現するため「資金循環の仕組み(ローカルファイナンス)を実装」
- ✓社会的事業の成果(社会的インパクト)の見える化により「資本」を充実

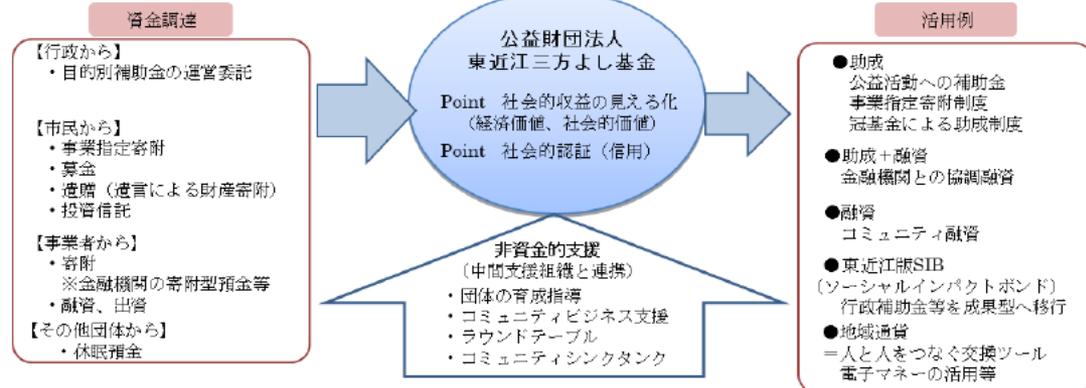


- Point①地域資源を活用して魅力向上**
- ・歴史文化遺産の磨き上げ
 - ・地域の人財の磨き上げ
 - ・インフラの有効活用
- Point②地域資源を再評価し保全・再生**
- ・森林、河川の保全・再生
 - ・生活弱者対応と地域共生の仕組みづくり
- Point③ソーシャルキャピタルの醸成**
- ・市民意識変化による社会変革
 - ・セーフティーネットの構築

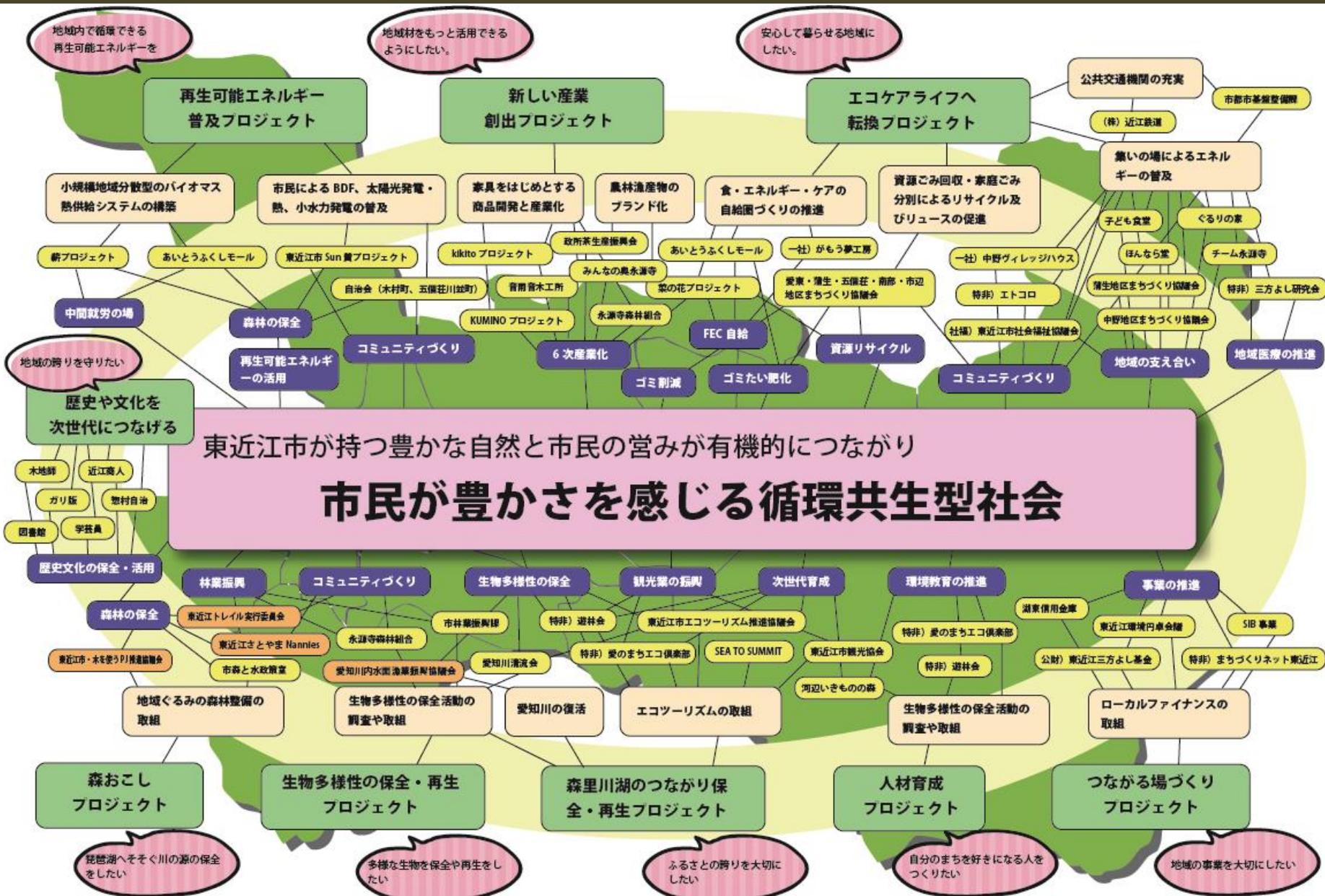
自然環境をベースにそれらを保全し活用する取組
 人と人・人と自然をつなぐ取組



東近江三方よし基金



目指す地域の姿（地域版マングラ）



活動団体紹介 (地域プラットフォームの全体像)

Environment & Social (人と自然、人と人のつながりの継承)

東近江三方よし基金では、環境(CO2、生物多様性)、経済(地域経済貢献度)、社会(人と自然・人と人のつながり時間)の視点で、分野を超えてつながるプロジェクトを支援

東近江市版SIB

Laque
マスカットベリーAを中心としたワイン用のぶどうの栽培や醸造技術の習得を行い、東近江市産ぶどう100%のワインを自家醸造・販売できる体制を構築することを旨す。



東近江市版SIB

MURASAKI no ORGANIC
万葉の時代から滋賀県東近江地域にある「紫草(ムラサキ)」を使ったオーガニックのスキンケアコスメ「MURASAKI no ORGANIC」を商品化。耕作放棄地の解消と山間部の雇用創出を目指す。



東近江市版SIB

政所茶生産振興
室町時代から続く有機栽培・手摘みの政所茶の継承を実現するため、付加価値の高い販路開拓、山村の丁寧な暮らし体験ツアー等を実施する。



社会的投資

市民共同発電所
市民出資で太陽光発電を設置し、その売電益は地域商品券で還元し、地域でお金を回す仕組みにつなげる。その一部を公益活動への寄付にあてる団体もある。



東近江市版SIB

がもう夢工房
空き店舗を改修して、地域の拠り所としてコガモカフェをオープン。着地型観光や人材バンク、子ども食堂など、地域の拠点として活用。定期的にマルシェを開催し、地元野菜や果物を販売。



東近江市版SIB

薪プロジェクト
獣害を防止するため雑木林を伐採し更新するため、雑木を薪として販売し、エネルギーとして利用する仕組み。薪割作業を地域の働きづらさを抱える若者らの中間的就労の場となる。



東近江市における社会的投資推進に関する協定締結(2018.11.16)

<p>湖東信用庫 (地域金融機関)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の社会的投資商品の紹介 東近江三方よし基金の理念に貢献する起業・創業提携融資を検討 	<p>公益財団法人 東近江三方よし基金 (基本財産は772名の志民寄附) H29.6.12設立→H30.7.2公益認定</p> <p>東近江市版SIB事業 (地域の社会的投資による成果運動補助金) 自然環境を生かした新・近江商人応援事業 (寄附を活用した起業・創業支援助成) etc</p>	<p>プラスソーシャルインベストメント株式会社 (第二種金融商品取引業者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的投資の案件組成 社会的投資のためのプラットフォーム設置・運営
---	--	---

・普及啓発

東近江市・事業者募集及び交付金支払・評価委員会に参加

社会的事業への資金調達支援に関する協働協定書(2017.6.20)

Local Governance (共に考え、共に創る 地域自治の継承) 中間支援組織: NPO法人まちづくりネット東近江との連携

東近江三方よし基金では、市、中間支援組織と連携して多様化する地域の課題を発見・共有し、共通価値を創出する自治のあり方を継承

- ✓ 地域自治の基本となる課題発見能力と共感力(小さな夢やSOSを見落とさない関係性の構築)
- ✓ 気づきから行動、そして仲間づくりへのサポート
- ✓ 一粒で二度も三度も美味しい、をベースにした地域「総働」の実現

【NPO法人まちづくりネット東近江】

Vision: 誰もがまちの創り人(つくりて)となる社会を目指して
Mission: 思いを形にしたい人達のあゆみに寄り添う

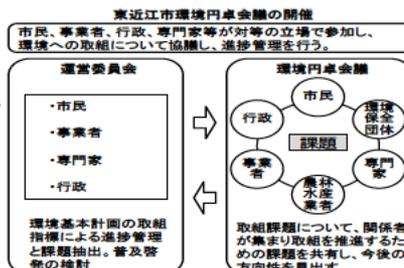
新たな課題

コレクティブインパクト事業利害関係者が多く、複雑な課題について取り上げ、課題の共有から協働プロジェクトの創出、課題の解決に導くためのチャレンジ。ラウンドテーブル運営委員会と連携する。
実績: ①イヌワシの棲む森づくりプロジェクト 等



プラットフォーム

東近江市環境円卓会議
環境・経済・社会の視点で、分野を超えてつながるプロジェクトを普及すると共に、環境基本計画の進捗管理も担う。新たな地域課題を深め共有する場を設定する環境円卓会議を運営する。



人材育成

地域ブランディングの本質
東近江市で暮らし続ける地域ブランディングを実現するため、市民が主体的にまちに関わろうという前向きな気持ちを育む人材育成について行政、市民、企業、教育機関等が議論し具体策を検討する。



地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと①

事業名称	小さな自然再生と絶滅危惧種の川ガキの復活！
事業の あらすじ・ ストーリー	<p>東近江市版SIBの仕組みを、小さな自然再生（魚道整備やバープ工等）に活用するための実証事業を行う。地域住民や企業の出資により、当事者意識の向上に貢献し、自然に親しむ意識の醸成につながることを実証調査する。</p> <pre> graph TD MS[環境省 事業化支援チーム] CS([市民・事業者]) SII(プラスソーシャル インベストメント 金融会社) BE[事業主体] FIF(公益財団法人 東近江三方よし基金) CEP([第三者評価委員会 成果指標設定、 成果評価]) CS -- ①出資支払 --> SII SII -- ②出資総額支払 --> BE BE -- ③成果報告 --> FIF CEP -- ④成果評価 --> FIF FIF -- ⑦成果報酬支払 --> SII MS -- ⑤成果報告 --> FIF FIF -- ⑥成果達成時 交付金支払 --> MS SII -- ⑧償還 --> CS </pre> <p> ①出資支払 ②出資総額支払 ③成果報告 ④成果評価 ⑤成果報告 ⑥成果達成時 交付金支払 ⑦成果報酬支払 ⑧償還 </p> <p> 環境省 事業化支援チーム </p> <p> 市民・事業者 </p> <p> プラスソーシャル インベストメント 金融会社 </p> <p> 公益財団法人 東近江三方よし基金 </p> <p> 第三者評価委員会 成果指標設定、 成果評価 </p> <p> 事業主体 </p> <p> 地元活動団体：2団体 </p> <p> 専門家（滋賀県立大学、滋賀 県琵琶湖環境科学研究セン ター）、行政、基金理事：6名 </p>
今年度の 取組	①愛知川流域における市民による小さな自然再生の取組 ②東近江市版SIBの仕組みを利用して、民間資金調達をツールに地域のつながりを強化 ③自然再生が地域にもたらす様々な効果の見える化
進捗状況	①2団体で小さな自然再生の取組を9月から2月まで実施 （簡易魚道の見試し活動、川ガキ育成塾のプログラムづくりと試行） ②10月に220万円の民間資金を調達（1口2万円、出資者46人） ③成果評価委員会で成果目標の設定（8月30日）と、成果目標達成の見える化（2月24日）を行う

地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと②

事業名称 子どもたちにビワマスを見せてあげるぞ！～簡易魚道の見試しで大人の川ガギづくり～
(愛知川漁業協同組合)

事業のあらすじ・ストーリー

- ・動機：子どもたちに琵琶湖の宝石ビワマスを見てもらい、愛知川を愛する次世代づくりのきっかけをつくりたい。
- ・目的：子どもたちのために、簡易魚道の見試し活動を通して、そのプロセスを楽しめ、川の流れや魚を考えられる大人の川ガキを育成する。

今年度の取組

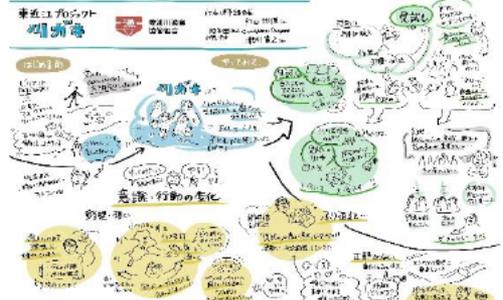
- ・資金調達：120万円（出資者19人）（10月）
- ・簡易魚道の材料を整え、見試し活動（9月～2月）を実施、効果の見える化




進捗状況

①簡易魚道の材料を整え、見試し活動を通して、地域内外の大人の川ガキが60人の育成できた。
 ②事業効果の見える化ができた。（成果評価委員会：2月24日）

- ・愛知川との関係時間の増加（人数×時間）：1～51人（延254人）×92時間＝**622時間**
- ・愛知川漁協スタッフや魚道の見試し参加者の変化を確認（川に対する行動・意識の変化など）
- ・協働の川づくりの体制（パートナーシップの多様性）の見える化
- ・環境へのインパクト（対象場所・対象種ビワマスの貴重性と魚道の意義）の見える化



	度数	最小値	平均値	標準偏差
2_1「愛知川」の好きな部分が見つかった気がする	41	3	4.20	716
2_2 川に触れ合うことでワクワクした	42	3	4.24	759
2_3 川との触れ合いで失敗してしまったことがあった	42	1	2.50	1.194
2_4 川に触れ合うハードルが下がった	42	1	3.67	979
2_5 自分なりに新しい発見があった	42	2	4.19	833
2_6 川に触れ合うことが楽しかった	42	3	4.40	734
2_7 川に愛着がめばえた	41	2	4.27	867
2_8 川に触れ合うことが面白かった	42	3	4.40	767



地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと③

事業名称	「そとイコ」川がキ育成塾のプログラムづくり （特定非営利活動法人 里山保全活動団体 遊林会）
事業の あらすじ・ ストーリー	<ul style="list-style-type: none"> ・動機：河辺林である「河辺いきものの森」で、人と人をつなぎ、森に働きかけ、人と自然をつないで一定の成果をあげてきた。「河辺いきものの森」と関係する愛知川に、活動を広げてたい。 ・目的：森と川のつながりを知り、自分たち自らが川への働きかけ（小さな自然再生）ができ、暮らしの中で川を意識できる人を育成する。
今年度の 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・資金調達：100万円（出資者27人）（10月） ・スタッフの学習や道具を揃え試行を行い、来年度試行するプログラムを作成して、体制を構築した。 ・プログラム年4回（生きもの掴み、アユの産卵床づくり河川耕耘の実施、バーブ工の見学、ビワマスの産卵観察） <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="266 575 595 782"> <p>石積みで川の流れを変化させ河川環境を向上させるバーブ工づくり</p> </div> <div data-bbox="643 575 971 782"> <p>河床耕耘による産卵床づくり</p> </div> <div data-bbox="1068 575 1425 782"> <p>生きもの掴み</p> </div> </div>

進捗状況	<p>①来年度試行するプログラムが作成でき、体制（スタッフ・道具）が整った。</p> <p>②事業効果の見える化ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川との関係時間の増加（人数×時間）：1~42人（延173人）×82時間=273時間 ・遊林会スタッフや試行プログラム参加者の変化（川に対する行動・意識の変化など） ・環境へのインパクト（対象種アユスの貴重性と対象場所によるバーブ工の意義）の見える化 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="401 1089 884 1403"> </div> <div data-bbox="933 1082 1445 1403"> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>産数</th> <th>最小値</th> <th>平均値</th> <th>標準偏差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2_1「愛知川」の好きな部分が見つかった気がする</td> <td>30</td> <td>2</td> <td>3.90</td> <td>1.062</td> </tr> <tr> <td>2_2 川に触れ合うことでワクワクした</td> <td>30</td> <td>2</td> <td>4.40</td> <td>.856</td> </tr> <tr> <td>2_3 川との触れ合いで失敗してしまったことがあった</td> <td>31</td> <td>1</td> <td>2.16</td> <td>1.440</td> </tr> <tr> <td>2_4 川に触れ合うハードルが下がった</td> <td>31</td> <td>1</td> <td>3.45</td> <td>1.457</td> </tr> <tr> <td>2_5 自分なりに新しい発見があった</td> <td>31</td> <td>2</td> <td>4.23</td> <td>.956</td> </tr> <tr> <td>2_6 川に触れ合うことが楽しかった</td> <td>31</td> <td>3</td> <td>4.52</td> <td>.724</td> </tr> <tr> <td>2_7 川に愛着がめばえた</td> <td>30</td> <td>2</td> <td>4.03</td> <td>.999</td> </tr> <tr> <td>2_8 川に触れ合うことが面白かった</td> <td>31</td> <td>3</td> <td>4.39</td> <td>.803</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>		産数	最小値	平均値	標準偏差	2_1「愛知川」の好きな部分が見つかった気がする	30	2	3.90	1.062	2_2 川に触れ合うことでワクワクした	30	2	4.40	.856	2_3 川との触れ合いで失敗してしまったことがあった	31	1	2.16	1.440	2_4 川に触れ合うハードルが下がった	31	1	3.45	1.457	2_5 自分なりに新しい発見があった	31	2	4.23	.956	2_6 川に触れ合うことが楽しかった	31	3	4.52	.724	2_7 川に愛着がめばえた	30	2	4.03	.999	2_8 川に触れ合うことが面白かった	31	3	4.39	.803
	産数	最小値	平均値	標準偏差																																										
2_1「愛知川」の好きな部分が見つかった気がする	30	2	3.90	1.062																																										
2_2 川に触れ合うことでワクワクした	30	2	4.40	.856																																										
2_3 川との触れ合いで失敗してしまったことがあった	31	1	2.16	1.440																																										
2_4 川に触れ合うハードルが下がった	31	1	3.45	1.457																																										
2_5 自分なりに新しい発見があった	31	2	4.23	.956																																										
2_6 川に触れ合うことが楽しかった	31	3	4.52	.724																																										
2_7 川に愛着がめばえた	30	2	4.03	.999																																										
2_8 川に触れ合うことが面白かった	31	3	4.39	.803																																										

今年度の取組を通じて得た気づきや課題

【今年度の事業化支援を通じた取組の中で、新たに得た気づきや課題】

(新たに得た気づき)

- **「自然資本への社会的投資」の「企業ニーズの把握」**：小さな自然再生の取組に対して、資金提供をしてもよい地域企業が存在することが、SIBの出資の営業活動を行い把握できた。
- **出資募集の一定期間の確保が必要**：企業が出資するためには、社内の稟議、決定までに一定の期間が必要である。
- **現地活動は社会関係資本の醸成につながる**：会議でなく、簡易魚道の見直しという現場での協働活動を通して、利害関係者のつながりが醸成できる。

(課題)

- **継続性**：小さな自然再生の取組の継続性。（市民への普及活動、活動の担い手育成、活動資金の確保）

【今年度の事業化支援の過程で解決しきれなかったことや積み残し、将来的な解決が必要と感じていること】

- **事業化**：持続可能な活動とするための事業化（例えばエコツアー化など）の検討
- **インパクト評価**：事業化した取組の効果の見える化（環境、経済、社会への波及効果の定量化）の手法検討
- **パブリックアクセス**：市民や市域外の方は自然資本や取組などへのアクセス手法の検討
- **多様な資金調達**：寄付、助成、融資、出資など資金調達の手法検討

今後の展望

【今後、チャレンジしていきたい事項】

- **東近江市の森里山湖の自然資本を保全・再生・活用する事業の想定**

農林水産物の生産・販売や6次産業化

カーボンクレジットや生物多様性オフセット

エコツーリズムやレクリエーションサービス など

- **事業のインパクト評価の手法検討**

環境 CO2の削減、生物多様性、土壌・水質の保全など

経済 地域内循環、地域外からの資金流入

社会 自然と人のつながり、人と人のつながり時間 など

- **自然資本へのインパクト投資など多様な資金調達の想定**

寄付、助成、融資、出資 など

- **周辺企業、地元集落を巻き込んだ小さな自然SIB**

【つながりたい専門技術を持った人・企業】

- 自然資本へのインパクト投資やインパクト評価の専門家